

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公表番号】特表 2013-546003 (P2013-546003A)

【公表日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報 2013-069

【出願番号】特願 2013-544856 (P2013-544856)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/447 (2006.01)

G 0 1 N 27/26 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/26 3 3 1 B

G 0 1 N 27/26 3 3 1 C

G 0 1 N 27/26 3 0 1 A

G 0 1 N 27/26 P

G 0 1 N 27/26 3 3 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 3 日 (2014.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

電気泳動測定方法であって、
分散剤を保持する容器を提供する工程と、
前記分散剤中に浸漬された第 1 電極を提供する工程と、
前記分散剤中に浸漬された第 2 電極を提供する工程と、
前記第 1 電極と前記第 2 電極の間の分散剤内の位置に、両電極から分離された状態で試料を配置する工程と、
前記第 1 電極および前記第 2 電極にわたって交流電界を印加する工程と、
前記試料に時間的にコヒーレントな光を照射する工程と、
前記交流電界を印加する工程中に前記試料と相互作用した、前記照射する工程による光において周波数シフトを検出する工程と、
前記検出する工程の結果に基づいて、前記試料の特性を導出する工程とを含む方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

前記検出する工程は、前記交流電界が印加された状態で相当量の前記試料が前記第 1 電極および前記第 2 電極のいずれかまで拡散し得る時間よりも短い時間で行われる、請求項 1 に記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

電気泳動装置であって、
容器と、
第 1 電極と、
第 2 電極と、
試料位置と前記第 1 電極との間の第 1 拡散バリアと、
前記試料位置と前記第 2 電極との間の第 2 拡散バリアと、
前記試料位置を照射するために配置される時間的にコヒーレントな照射光の光源と、
前記試料と相互作用した後の前記試料位置からの照射光を受け入れるように配置される
周波数シフト検出器と
を含む装置。